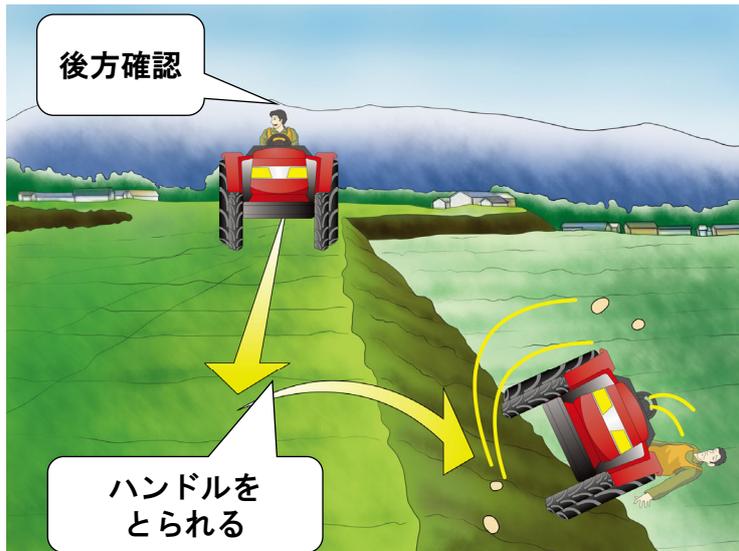


乗用トラクターの事故事例

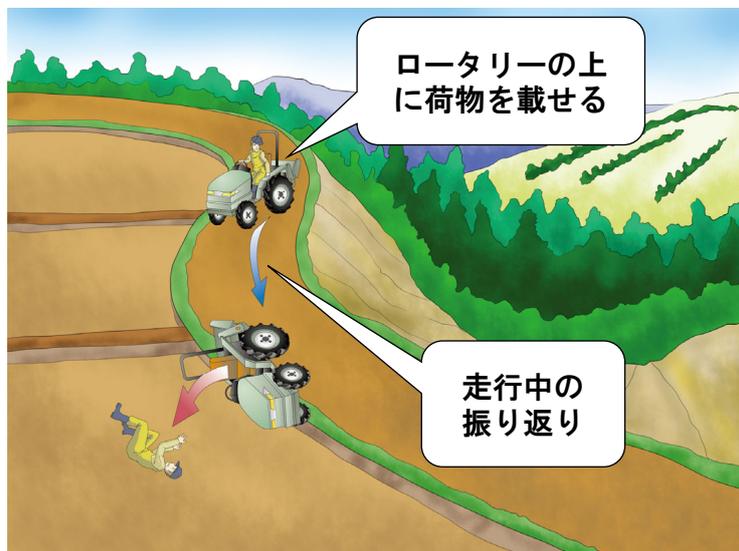


事故概要

早朝から耕うん作業を行っていた。周辺にいた人が、突然トラクターの作業音がなくなったので探したところ、転落したトラクタに下敷きになった被害者を発見。死亡。

原因

ロータリー耕うん作業を確認するため、後方を振り返った時に、固い物体に乗り上げハンドルをとられて転落したと推定される。



事故概要

農道を走行中、ロータリーの上に載せていたスコップが落ちそうになり、振り返った時にハンドル操作を誤って旋回。水田に転落して横倒しになった時に変速レバーが胸にあたり、肋骨を骨折、肺にも穴。10日間の入院。

原因

- ① ロータリーの上にスコップを載せて走行した。
- ② 走行中に振り返った時にハンドルを回してしまった。



事故概要

大型トラクターのフェンダーに乗ってキャブの屋根の清掃や作業灯の調整を行っていた時に滑り落ち、圧迫骨折と足首を剥離骨折。3ヶ月休業。

原因

- ① 秋、冬作物の収穫と、麦の播種前準備（朝7時～夜9時まで1週間耕起・整地）など作業が重なる忙しい時期で、思考力が落ちていた。
- ② 地下足袋の裏に泥がついていて滑りやすかった。